

カンサットプロジェクト



カンサットはもともと宇宙開発をもう少しリーズナブルにおこないたいということでアメリカの大学で始まりました。現在ではカンサットだけでなくCubeSatといった衛星も開発されており学生が人工衛星などの実際に宇宙に打ち上げる機械を開発できる時代となっています。そこで、本カンサットプロジェクトでは宇宙に関する知識・技術力を高めることを目指しています。今年度は、カンサットとよばれる空き缶ほどの大きさの小型ロボットやモデルロケットとよばれる小型のロケットを製作しています。また、Fusion360 という 3DCAD を使ってロケットの外形やロケットエンジン固定ユニットを設計をしたり、基板を実際に設計・製作も行っています。前期には、製作したロケットをグラウンドで実際に打ち上げ、上空の写真を撮影したり、後期には、新素材を使ってロケットの軽量化に挑戦し、高度100メートル達成を目指して日々挑戦しています。